

IN THE U.S. PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re application of: Shinya USAMI
Appl. No.: NEW NON-PROVISIONAL
Filed: February 11, 2004
Title: WIRELESS TERMINAL ADVERTISEMENT SYSTEM

CLAIM TO PRIORITY

Assistant Commissioner for Patents
P.O. Box 1450
Alexandria, VA 22313-1450

February 11, 2004

Sir:

Applicant(s) herewith claim(s) the benefit of the priority filing date of the following application(s) for the above-entitled U.S. application under the provisions of 35 U.S.C. § 119 and 37 C.F.R. § 1.55:

<u>Country</u>	<u>Application No.</u>	<u>Filed</u>
JAPAN	2003-046775	February 25, 2003

Certified copy(ies) of the above-noted application(s) is(are) attached hereto.

Respectfully submitted,

YOUNG & THOMPSON



Benoit Castel, Reg. No. 35,041

745 South 23rd Street
Arlington, VA 22202
Telephone (703) 521-2297

BC/yr

Attachment(s): 1 Certified Copy(ies)

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日
Date of Application: 2003年 2月25日

出願番号
Application Number: 特願2003-046775
[ST. 10/C]: [JP2003-046775]

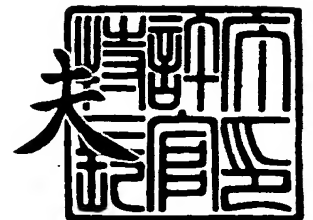
出願人
Applicant(s): 日本電気株式会社



2004年 1月13日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今井康夫



出証番号 出証特2003-3110589

【書類名】 特許願

【整理番号】 53210993PY

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/60
G06F 13/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都港区芝五丁目 7 番 1 号 日本電気株式会社内

【氏名】 宇佐美 真也

【特許出願人】

【識別番号】 000004237

【氏名又は名称】 日本電気株式会社

【代理人】

【識別番号】 100083987

【弁理士】

【氏名又は名称】 山内 梅雄

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 016252

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9006535

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 無線端末広告システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 所定のソフトウェアを構成するそれぞれの部分ソフトウェアと広告情報とを格納し、広告情報のアクセスがあったときアクセスされた広告情報とこれに対応する部分ソフトウェアのうちの少なくとも 1 つを選択して配信する広告配信サーバと、

この広告配信サーバから広告情報を受け取るたびにこれに付随して受け取った部分ソフトウェアを順次格納するソフトウェア格納部と、このソフトウェア格納部に格納された複数の部分ソフトウェアを実行可能なソフトウェアに連結するソフトウェア連結手段と、このソフトウェア連結手段で連結したソフトウェアを実行するソフトウェア実行手段とを備えた無線端末とを具備することを特徴とする無線端末広告システム。

【請求項 2】 所定のソフトウェアを構成するそれぞれの部分ソフトウェアを特定する識別情報と広告情報とを格納し、広告情報のアクセスがあったときアクセスされた広告情報とこれに対応する部分ソフトウェアを特定する識別情報のうちの少なくとも 1 つとを選択して配信する広告配信サーバと、

前記所定のソフトウェアを構成する部分ソフトウェアの全部または一部を連結してそれ自体で実行可能となったソフトウェアを格納し配信するソフトウェア配信サーバと、

前記広告配信サーバから広告情報を受け取るたびにこれに付随して受け取った部分ソフトウェアの識別情報を順次格納するソフトウェア識別情報格納部と、このソフトウェア識別情報格納部に格納された複数の識別情報にそれぞれ対応する部分ソフトウェアの連結によって実行できるソフトウェアを取得するための識別情報の組み合わせを指定する識別情報組み合わせ指定手段と、この識別情報組み合わせ指定手段によって指定された識別情報の組み合わせに対応するソフトウェアを前記ソフトウェア配信サーバからダウンロードするソフトウェアダウンロード手段と、このソフトウェアダウンロード手段でダウンロードしたソフトウェアを実行するソフトウェア実行手段とを備えた無線端末

とを具備することを特徴とする無線端末広告システム。

【請求項 3】 前記無線端末はソフトウェア格納部に格納された特定の部分ソフトウェアを無線端末同士の通信によって授受する部分ソフトウェア送受信部を具備することを特徴とする請求項 1 記載の無線端末広告システム。

【請求項 4】 前記無線端末はソフトウェア識別情報格納部に格納された特定の識別情報を無線端末同士の通信によって授受する識別情報送受信部を具備することを特徴とする請求項 2 記載の無線端末広告システム。

【請求項 5】 実行可能なソフトウェアを構成する部分ソフトウェア群と前記ソフトウェア格納部に現時点で格納されている部分ソフトウェアとの関係を表示する関係表示手段を具備することを特徴とする請求項 1 記載の無線端末広告システム。

【請求項 6】 前記広告配信サーバとソフトウェア配信サーバは 1 つの配信サーバとして構成されていることを特徴とする請求項 2 記載の無線端末広告システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は携帯電話機等の無線端末を使用して広告を行う無線端末広告システムに係わり、特にそれぞれの無線端末が反復して広告にアクセスする可能性を高めた無線端末広告システムに関する。

【0002】

【従来の技術】

広告を各家庭や個人に届ける最も代表的な媒体は新聞である。新聞に折り込まれるチラシ広告の量は年々増加している。これに伴って、朝刊だけでなく夕刊にもチラシ広告を折り込んで配達する新聞も現われている。チラシ広告は、商品やサービスの情報の入手源として広く用いられている。

【0003】

近年、携帯電話機、PHS (Personal Handy-phone System)、PDA (Personal Digital Assistant) あるいは携帯可能なパーソナルコンピュータ等の無線

端末の普及率が非常に高くなっており、現在もあらゆる年代に無線端末が浸透している。特に無線端末は有線の端末と異なって場所に依存せずに通信が可能のために生活に欠くことのできない情報ツールとなっている。そこで、従来から存在する新聞のチラシ広告とは別に無線端末を広告の媒体として用いることが試みられている。

【 0 0 0 4 】

特に無線端末を広告に使用する場合には、新聞と異なり広告を家庭や個人に直接配達する必要がなく、人件費を大幅に節約することができる。したがって、広告の配布対象地域を限定せずに広範囲に設定するような場合には、無線端末を広告媒体とすることが有利である。しかしながら、無線端末に対して広告を単に流すだけでは十分な効果を得ることができない。このため、効果を期待できる広告システムが各種考案されている。

【 0 0 0 5 】

たとえば、ユーザが他のユーザに通信回線を介して電子メールを送信する際に、この電子メールの先頭、中間部あるいは後端部に企業広告情報を貼り付けるようにした提案が行われている（特許文献 1）。この提案では、これら企業広告情報の表示箇所をユーザがクリックすることによってその企業のウェブサイトにアクセスできるようにしている。また、この提案では、ユーザが広告情報を使用するたびにユーザにポイントを与える工夫も行っている。また、企業広告情報の一部として企業のイメージキャラクタを含んだ画像情報（イメージキャラクタ）あるいは企業をイメージさせる音声情報（イメージソング）を貼り付けて送信することで、その広告を視聴するときに企業のイメージを向上させたり、強力に印象付ける工夫も行っている。

【 0 0 0 6 】

また、サービスプロバイダが所定の通信ソフトウェアを無料でダウンロードさせ、この際に、これらのユーザの個人情報をデータベースとして蓄積するようにする提案も行われている（特許文献 2）。この提案では、広告主から広告の依頼を受けた場合に、その広告のターゲットとなる者をこのデータベースから個人情報の項目を基にして絞り込み、絞り込み後のユーザに対して広告を送るようにし

ている。また、広告に際しては特定のキャラクタを画面に表示するようにしている。これにより、キャラクタの表示と相まって、広告による効果を効率的にしている。

【0 0 0 7】

これとある意味で共通するが、ユーザ端末が所定のサーバから提供された情報を利用すると、情報分析装置が嗜好分野を分析するようにした提案も行われている（特許文献3）。この提案では、分析結果に応じた広告をこれらのユーザに送出するようにして宣伝効果を高めている。

【0 0 0 8】

【特許文献1】

特開 2 0 0 2 - 4 1 9 3 9 号公報（第 0 0 7 9 段落、第 0 1 0 7 段落、第 0 1 2 2 段落、図 2）

【特許文献2】

特開 2 0 0 1 - 3 1 2 5 0 8 号公報（第 0 0 4 8 ～ 0 0 5 3 段落、図 3）

【特許文献3】

特開 2 0 0 2 - 1 3 3 2 7 1 号公報（第 0 0 1 8 段落、図 1、図 5）

【0 0 0 9】

【発明が解決しようとする課題】

以上説明した従来行われた提案のうち、特許文献1に示された提案では、広告を視聴する際に広告主の企業のイメージキャラクタが現われたりそのイメージソングが流れるようになっているので、広告を視聴する際に楽しみが生じる。しかしながら、そのサイトはあくまで広告のために設けられているものである。したがって、たとえばイメージソングに付随して広告の映像が現われることになり、音楽を聴くために最適な映像が映し出されるのではない。したがって、何度もその広告のサイトにアクセスすることがユーザにとって必ずしも快適ではなく、また効率的でもない。イメージキャラクタやイメージソングをデータとして保存してこれらを個人的に利用するようにしてしまえば、広告主の設定したサイトに訪れることもなくなり広告の効果もなくなる。

【0010】

次に、ユーザが広告情報を使用するたびに報奨金獲得のためのポイントを与えることで広告をより多く視聴させようとする手法は、特許文献1に限らず従来から多く採用されている。この手法を採用した場合、報奨金を目当てにするだけのユーザが報奨金の高いサイトに群がるという問題がある。報奨金を高くした場合、広告主のサイトのアクセス数は一般に高く設定する必要がある。しかしながら一人のユーザが特定のサイトに非常に高い回数アクセスすること自体が不自然であり、時間を掛けて広告を視聴する者に対する報酬とは性格が異なる。すなわち、報奨金のみに関心を示し広告に関心を示さないユーザに報奨金を支払うこと自体が無意味であるという問題が生じる。

【0011】

また、特許文献2および特許文献3では、データベースあるいは情報分析によってユーザの嗜好分野に的を搾って広告を配信することになっている。これ自体は広告効果の高いユーザを事前に選別して広告を配布するという点で有効である。しかしながら、そのユーザに反復的に特定の広告主のサイトに訪れさせる効果はこれらの提案自体では生じない。また、広告の表示される画面に特定のキャラクタを表示することは画面に対する印象を良くして広告による効果を高めることができるものの、無数のサイトが存在する現状でキャラクタの表示だけのためにそのサイトに再度訪れさせる効果は少ない。

【0012】

そこで本発明の目的は、報奨金を使用することなく、特定のサイトへの複数回のアクセスの可能性を高めて広告効果を高めることのできる無線端末広告システムを提供することにある。

【0013】

【課題を解決するための手段】

請求項1記載の発明では、(イ) 所定のソフトウェアを構成するそれぞれの部分ソフトウェアと広告情報とを格納し、広告情報のアクセスがあったときアクセスされた広告情報とこれに対応する部分ソフトウェアのうちの少なくとも1つを選択して配信する広告配信サーバと、(ロ) この広告配信サーバから広告情報を

受け取るたびにこれに付随して受け取った部分ソフトウェアを順次格納するソフトウェア格納部と、このソフトウェア格納部に格納された複数の部分ソフトウェアを実行可能なソフトウェアに連結するソフトウェア連結手段と、このソフトウェア連結手段で連結したソフトウェアを実行するソフトウェア実行手段とを備えた無線端末とを無線端末広告システムに具備させる。

【0014】

すなわち請求項1記載の発明では、広告配信サーバが、所定のソフトウェアを構成するそれぞれの部分ソフトウェアと広告情報とを格納しており、広告情報のアクセスがあったときにはアクセスされた広告情報とこれに対応する部分ソフトウェアのうちの少なくとも1つを選択して配信するようにしている。これにより無線端末は、この広告配信サーバから広告情報を受け取るたびにこれに付随して部分ソフトウェアを受け取る。受け取った部分ソフトウェアは無線端末のソフトウェア格納部に順次格納されるようになっている。無線端末内のソフトウェア連結手段はソフトウェア格納部に格納された複数の部分ソフトウェアが実行可能なソフトウェアの各部を満たしたときこれらを連結し、ソフトウェア実行手段が連結後のソフトウェアを実行するようにしている。すなわち、請求項1記載の無線端末広告システムでは、ユーザが特定の広告情報にアクセスするたびにゲームや有用なアプリケーション等のソフトウェアの部分部分が入手できるので、ユーザを特定のサイトに幾度も通わせて実行可能な状態のソフトウェアを取得させることで広告による効果を高めることができる。

【0015】

請求項2記載の発明では、(イ) 所定のソフトウェアを構成するそれぞれの部分ソフトウェアを特定する識別情報と広告情報とを格納し、広告情報のアクセスがあったときアクセスされた広告情報とこれに対応する部分ソフトウェアを特定する識別情報のうちの少なくとも1つとを選択して配信する広告配信サーバと、(ロ) 前記した所定のソフトウェアを構成する部分ソフトウェアの全部または一部を連結してそれ自体で実行可能となったソフトウェアを格納し配信するソフトウェア配信サーバと、(ハ) 広告配信サーバから広告情報を受け取るたびにこれに付随して受け取った部分ソフトウェアの識別情報を順次格納するソフトウェア

識別情報格納部と、このソフトウェア識別情報格納部に格納された複数の識別情報にそれぞれ対応する部分ソフトウェアの連結によって実行できるソフトウェアを取得するための識別情報の組み合わせを指定する識別情報組み合わせ指定手段と、この識別情報組み合わせ指定手段によって指定された識別情報の組み合わせに対応するソフトウェアをソフトウェア配信サーバからダウンロードするソフトウェアダウンロード手段と、このソフトウェアダウンロード手段でダウンロードしたソフトウェアを実行するソフトウェア実行手段とを備えた無線端末とを無線端末広告システムに具備させる。

【0016】

すなわち請求項2記載の発明では、広告配信サーバが、所定のソフトウェアを構成するそれぞれの部分ソフトウェアを特定する識別情報と広告情報とを格納しており、広告情報のアクセスがあったときにはアクセスされた広告情報とこれに対応する部分ソフトウェアを特定する識別情報のうちの少なくとも1つを選択して配信するようにしている。これにより無線端末は、この広告配信サーバから広告情報を受け取るたびにこれに付随して部分ソフトウェアを特定する識別情報を受け取る。受け取った識別情報は無線端末のソフトウェア識別情報格納部に順次格納されるようになっている。識別情報組み合わせ指定手段は、ソフトウェア識別情報格納部に格納された複数の識別情報にそれぞれ対応する部分ソフトウェアの連結によって実行できるソフトウェアを取得するための識別情報の組み合わせを指定する。そして、そのソフトウェアをソフトウェア配信サーバからダウンロードし、ソフトウェア実行手段がダウンロードしたソフトウェアを実行するようにしている。すなわち、請求項1記載の無線端末広告システムでは、ユーザが特定の広告情報にアクセスするたびにゲームや有用なアプリケーション等のソフトウェアの部分部分が入手されるので、特定のサイトに幾度も通わせて実行可能な状態のソフトウェアを取得させることで広告による効果を高めることができる。ソフトウェアダウンロード手段は、この組み合わせに対応するソフトウェアをソフトウェア配信サーバからダウンロードするので、無線端末内のソフトウェア実行手段は連結したソフトウェアを実行するようにしている。すなわち、請求項2記載の無線端末広告システムでは、ユーザが特定の広告情報にアクセスするたびに

ゲームや有用なアプリケーション等のソフトウェアを構成する部分ソフトウェアを特定する識別情報が入手されるので、ユーザを特定のサイトに幾度も通わせて最終的にソフトウェア配信サーバから実行可能な状態のソフトウェアを取得させることで広告による効果を高めることができる。

【0017】

請求項3記載の発明では、請求項1記載の無線端末広告システムで、無線端末はソフトウェア格納部に格納された特定の部分ソフトウェアを無線端末同士の通信によって授受する部分ソフトウェア送受信部を具備することを特徴としている。

【0018】

すなわち請求項3記載の発明では、無線端末同士がそれぞれの所有する部分ソフトウェアを交換できるようにしたものである。これにより、ユーザ間で特定の広告に対する関心を共有することができる。また、請求項3記載の発明の場合には無線端末同士が交換できる部分ソフトウェアは全部ではなく特定の部分ソフトウェアに限定されている。したがって、それぞれの無線端末は幾つかを特定の広告情報にアクセスすることで取得する必要がある、これにより単に広告による効果を保持するだけでなく、広告主の提供する商品等の最新の情報をユーザに知らせることができる。

【0019】

請求項4記載の発明では、請求項2記載の無線端末広告システムで、無線端末はソフトウェア識別情報格納部に格納された特定の識別情報を無線端末同士の通信によって授受する識別情報送受信部を具備することを特徴としている。

【0020】

すなわち請求項4記載の発明では、請求項2記載の発明に対して請求項3記載の発明と同様の効果を得ることができる。

【0021】

請求項5記載の発明では、請求項1記載の無線端末広告システムで、実行可能なソフトウェアを構成する部分ソフトウェア群とソフトウェア格納部に現時点で格納されている部分ソフトウェアとの関係を表示する関係表示手段を具備するこ

とを特徴としている。

【 0 0 2 2 】

すなわち請求項 5 記載の発明では、無線端末のユーザが今までに取得した部分ソフトウェアあるいはこれに対応する識別情報と実行の目標とするソフトウェアとの関係を表示するようにして、ユーザに対して収集の意欲を湧かせ、広告情報へのアクセスを積極的に行わせるようにしている。

【 0 0 2 3 】

請求項 6 記載の発明では、請求項 2 記載の無線端末広告システムで、広告配信サーバとソフトウェア配信サーバは 1 つの配信サーバとして構成されていることを特徴としている。

【 0 0 2 4 】

すなわち請求項 6 記載の発明では、広告配信サーバとソフトウェア配信サーバが 1 つの配信サーバでよいことを示している。両者が別々のサーバでよいことも当然である。

【 0 0 2 5 】

【発明の実施の形態】

【 0 0 2 6 】

【実施例】

以下実施例につき本発明を詳細に説明する。

【 0 0 2 7 】

図 1 は本発明の一実施例における無線端末広告システムの概要を表わしたものである。この無線端末広告システム 1 0 0 は携帯電話機等の携帯無線端末 1 0 1₁、1 0 1₂、……（図示を簡略化するために 2 つの携帯無線端末 1 0 1₁、1 0 1₂を例示。）を使用するユーザに対して広告を伝達するシステムとして構成されている。無線サービス通信事業者 1 0 2 は基地局 1 0 3₁、1 0 3₂、……（図示を簡略化するために 2 つの基地局 1 0 3₁、1 0 3₂を例示。）を介して携帯無線端末 1 0 1₁、1 0 1₂、……に対して通話やデータ通信のサービスを行うようになっている。コンテンツプロバイダ 1 0 4 は、広告依頼者 1 0 5 から広告の依頼を受けて、ユーザの視聴するコンテンツに対して広告を付け、無線サービス通

信事業者 1 0 2 を使用してコンテンツの配信を行うようになっている。本実施例では、たとえば携帯無線端末 1 0 1₁ がコンテンツの受信を要求したときに、これに併せて、広告情報を配信すると共に、実行可能なソフトウェアの構成員としての部分ソフトウェアをその携帯無線端末 1 0 1₁ に配信するようになっている。

【0 0 2 8】

図 2 は、本実施例で使用される携帯無線端末の構成を表わしたものである。ここでは携帯無線端末 1 0 1₁ についてその構成を示すが、他の携帯無線端末 1 0 1₂、……についても基本的に同一の構成となっている。携帯無線端末 1 0 1₁ は、CPU（中央処理装置）1 2 1 を備えており、データバス等のバス 1 2 2 に接続された ROM（リード・オンリ・メモリ）1 2 3 に格納された制御プログラムに応じて通信等の所定の制御を行うようになっている。RAM 1 2 4 は比較的大容量のメモリであり、その一部にソフトウェア格納部 1 2 5 が割り当てられている。ソフトウェア格納部 1 2 5 は、図 1 に示したコンテンツプロバイダ 1 0 4 が提供するソフトウェアの構成員としての部分ソフトウェアを収集すると共に、これらを連結した実行対象としてのソフトウェアを格納するようになっている。

【0 0 2 9】

無線通信部 1 2 6 は、アンテナ 1 2 7 を介して図 1 に示した基地局 1 0 3₁ と無線通信を行う回路部分である。赤外通信部 1 2 8 は図示しない発光素子と受光素子の対を備えており、他の携帯無線端末 1 0 1₂、……との間でデータの送受信を行う回路部分である。本実施例では部分ソフトウェアの送受信を他の携帯無線端末 1 0 1₂、……と直接行える点が重要である。操作部 1 2 9 は携帯無線端末 1 0 1₁ の図示しない操作パネルに配置された各種キーを用いて相手先をダイヤルしたり、またソフトウェア格納部 1 2 5 に格納され実行可能となったゲーム等のソフトウェアを使用する際の操作を行う部分である。

【0 0 3 0】

表示部 1 3 1 は液晶ディスプレイあるいは有機 EL（ElectroLuminescence）ディスプレイ等のディスプレイで構成されている。この表示部 1 3 1 はユーザのアクセスしたコンテンツや広告依頼者 1 0 5 がコンテンツプロバイダ 1 0 4 に依

頼した広告等の従来から行われた各種表示が行われる他、本実施例では部分ソフトウェアと実行可能なソフトウェアとの関係を示すイメージ画像の表示を行えるようになっている。これについては後に説明する。音声入出力部 132 は、図示しないマイクロフォンとスピーカを用いて相手先と通話を可能にしたり、ダウンロードしたデータを用いて音楽を聴取するために使用される。

【0031】

図3は、本実施例の無線端末広告システムの動作の概要を示したものである。広告依頼者105はコンテンツプロバイダ104に広告情報とユーザに提供するソフトウェアの双方の作成を依頼する（ステップS201）。ただし、ソフトウェアについてはすでに市販されているものの購入を指示してもよい。コンテンツプロバイダ104は作成した広告情報とソフトウェアの作成代ならびに配信代について広告依頼者105に所定の料金を請求する（ステップS202）と共に、無線サービス通信事業者102に対して配信のための費用を支払う（ステップS203）。これによって無線サービス通信事業者102は携帯無線端末101₁、101₂、……がコンテンツプロバイダ104のコンテンツにアクセス可能な状態に設定する。この後、無線サービス通信事業者102はユーザがたとえば携帯無線端末101₁から該当するコンテンツにアクセスしてきたとき、無線を使用してこの携帯無線端末101₁に対してコンテンツを配信する（ステップS204）。また、これと共にそのコンテンツに予め対応させた部分ソフトウェアもその携帯無線端末101₁に配信することになる。

【0032】

図4は、ユーザが最終的に実行するソフトウェアと無線サービス通信事業者がそのたびに配信する部分ソフトウェアとの関係を示したものである。図1に示した広告依頼者105が作成を指示したゲーム等のソフトウェア141はそのままの形で配信してもよいが、広告依頼者105の提供するコンテンツおよび広告に対して複数回のアクセスを可能にするために第1～第Nの部分ソフトウェア142₁、142₂、……142_Nに分割される。そして、これらを順に、あるいは全く任意の順序で、広告情報と併せてユーザに対して配信するようになっている。すなわち、第1～第Nの部分ソフトウェア142₁、142₂、……142_Nは、

それぞれ単なるデジタルデータでしかないので、1区切りの部分ソフトウェアの前の部分に配信用ヘッダ143を付加すると共に後の部分に配信用フッタ144を付加して、1回で送信できるデータ形式に変更する。そして、これを図3に示す無線サービス通信事業者102がこの例では携帯無線端末101₁に対して配信することになる。

【0033】

図1に示した携帯無線端末101₁は、広告依頼者105の広告を視聴することに伴って受け取った部分ソフトウェア142_xを自動的にそのソフトウェア格納部125（図2）に格納する。ソフトウェア格納部125の格納状態は、図3に示すそのユーザ151₁が表示部131（図2）を表示して常に確認することができる。ユーザ151₁は、部分ソフトウェア142_xとこれに他の部分ソフトウェアを幾つか組み合わせて得られる実行可能なソフトウェアとの関係、後に説明する表示部131（図2）の表示内容によって容易に判別することができる。この結果、実行可能なソフトウェアを最終的に取得するために、ユーザ151₁はその広告依頼者105の広告を進んで閲覧することになる。

【0034】

図3に示す携帯無線端末101₁のユーザ151₁は、広告依頼者105の広告の閲覧を行う（ステップS205）たびに部分ソフトウェアを順次収集していく（ステップS206）。そして、最終的に実行可能なソフトウェアに対する全部分ソフトウェアが揃ったらこれらを連結させて、携帯無線端末101₁でそのソフトウェアを実行することになる（ステップS207）。具体的にはあるゲームのソフトウェアが4つの部分ソフトウェアで構成される場合には、これら4つの部分ソフトウェアを集めることでそのゲームを携帯無線端末101₁でプレイすることができるようになる。

【0035】

図5は広告情報を視聴している状態での表示部の表示内容の一例を表わしたものである。表示部131の所定の領域には広告依頼者105の広告161が表示され、その横には今回取得した部分ソフトウェアのイメージ画像162が表示される。また、イメージ画像162の表示箇所の図で下側には、収集の目標となる

ゲームのソフトウェアとしての目標ゲームを記入する欄 176 が配置されている。

【0036】

図6は、取得したこのイメージ画像と最終的に実行可能なソフトウェアとの関係を示す表示画面の一例を示したものである。ユーザがその所持する携帯無線端末 101₁の操作部 129 を操作してソフトウェア取得目標モードに設定すると、たとえば図6に示すソフトウェア取得目標画面 171 が表示される。このソフトウェア取得目標画面 171 では、図5に示した最初に取得した部分ソフトウェアのイメージ画像 162 と、この部分ソフトウェアを用いて達成できる最終的なソフトウェアの輪郭イメージ 172～174 が表示される。また、図示しないがそれぞれの輪郭イメージ 172～174 のソフトウェアで実行できるソフトウェアの名称とその内容がヘルプ形式で画面表示されるようになっている。

【0037】

たとえば図6の(1)で示された第1の輪郭イメージ 172 は「××ロールプレイング・ゲーム」のソフトウェアを表わしたものであり、(2)で示された第2の輪郭イメージ 173 は「××ボードゲーム」のソフトウェアを表わしたものであり、(3)で示された第3の輪郭イメージ 174 は「××オンラインゲーム」のソフトウェアを表わしたものである。ゲームの代わりに実用的なソフトウェアであってもよい。

【0038】

ユーザは取得した部分ソフトウェアのイメージ画像 162 を基にして、どの関連の部分ソフトウェアを集めていくかを決めて、図6に示したソフトウェア取得目標画面 171 を参照して図5に示した欄 176 に対応する数値を操作部 129 (図2) から入力する。これにより、図1に示したコンテンツプロバイダ 104 は携帯無線端末 101₁のユーザの意向に対応させ、次にアクセスがあったときの部分ソフトウェアの配信の種類を決定することができる。もちろん、システムによってはユーザが特定の広告依頼者 105 の広告にアクセスするたびにコンテンツプロバイダ 104 側が全く任意に部分ソフトウェアを選択して送信するようにしてもよい。この場合、ユーザは図6に示したソフトウェア取得目標画面 17

1を表示し、最終的なソフトウェアの輪郭イメージ172～174のいずれかが完全に塗り潰された段階で、実行可能なソフトウェアが揃ったことを知ることができる。

【0039】

図7は、部分ソフトウェアのイメージ画像の幾つかが組み合わされて、実行可能なソフトウェアが完成する例をイメージ画像として表わしたものである。この例では図6の(1)の場合の輪郭イメージ172が完成する場合を示している。部分ソフトウェアのイメージ画像162に他の3つの部分ソフトウェアのイメージ画像181～183が加わることで、図6の輪郭イメージ172が完成し、「××ロールプレイング・ゲーム」のソフトウェアを実行できる状態となる。

【0040】

図8は特定の広告の配信のアクセスがあったときのコンテンツプロバイダ側の配信制御の概要を表わしたものである。図1に示したコンテンツプロバイダ104は図示しないCPUや制御プログラムを格納した記憶媒体を備えたコンピュータを用いてこの処理を行うことになる。携帯無線端末101₁、101₂、……のいずれかから特定の広告依頼者105の広告を配信するためのアクセスがあったとする(ステップS301：Y)。CPUはその携帯無線端末(以下、携帯無線端末101₁として説明を行う。)の電話番号等の識別情報を基にして該当するコンテンツに初めてアクセスしたかどうかを判別する(ステップS302)。携帯無線端末101₁が初回のアクセスであった場合には(Y)、最初に配布する部分ソフトウェア(図6でイメージ画像162に対応する部分ソフトウェア)とこれを用いて達成可能なソフトウェアの輪郭イメージ172～174を本来の広告等のコンテンツデータと一緒に携帯無線端末101₁に向けて配信させる(ステップS303)。ユーザはこれを基にして図6に示したソフトウェア取得目標画面171を表示することができる。

【0041】

この状態でコンテンツプロバイダ104側のCPUはそのユーザから目標ゲームに関する応答があるか(ステップS304)、あるいはこのような応答がなくアクセスが終了したか(ステップS305)をチェックする。目標ゲームに関す

る応答があった場合には（ステップS304：Y）、目標として示された数値および現在の携帯無線端末101₁に配信した部分ソフトウェアの種類を携帯無線端末101₁のユーザと対応付けて図示しない記憶媒体に格納する（ステップS306）。目標ゲームに関する応答がなくそのコンテンツに対するアクセスが終了した場合には（ステップS305：Y）、携帯無線端末101₁のそのユーザがアクセスした回数を履歴情報として格納して（ステップS307）、処理を終了させる（リターン）。

【0042】

そのユーザが2回目以降にそのコンテンツにアクセスすると（ステップS301：Y、S302：N）、CPUはそのユーザが目標を設定しているかどうかをチェックして（ステップS308）、設定している場合には（Y）、その目標を達成しているかどうかをチェックする（ステップS309）。達成していない場合には（N）、目標に向けた部分ソフトウェアを広告等のコンテンツと共に配信する（ステップS310）。ただし、非常に価値のあるソフトウェアが最終的に実行されるような場合には、ステップS310で単純に今までなかった部分ソフトウェアを1つずつ配信するのではなく、アクセスが所定回数に至るまで他の部分ソフトウェアを配布したり、過去に配布した同一の部分ソフトウェアを重複して配布することも有効である。

【0043】

ステップS308でそのユーザが目標を設定していないような場合には（N）、特定のゲームあるいはアプリケーションのソフトウェアにまだ関心を示していないのでランダムに選択した部分ソフトウェアを広告等のコンテンツと共に配信する（ステップS311）。ステップS309で目標となるゲームのソフトウェアの取得に成功したと判別されたような場合にも（ステップS309：Y）、ステップS311の処理が行われる。

【0044】

なお、このコンテンツプロバイダ104側の制御には各種の変形が可能であることは当然である。たとえば複数回のアクセスが行われるまで全く任意に選択した部分ソフトウェアを順次配信し、その後に目標となるソフトウェアを選択させ

てもよい。また、目標となるソフトウェアをただ1種類として、アクセスが多いほどゲームのキャラクタが増えたり、ゲームのストーリーが複雑化するようなものであってもよい。表示する色の数が増加するようなものであってもよい。また、ある程度の数、アクセスしたことを実績として、他の携帯無線端末1012、……に特定の部分ソフトウェアを直接分け与えたり、これらの携帯無線端末1012、……から自分の欲しい部分ソフトウェアを貰う権限を与えるようにしてもよい。

【0045】

このように携帯無線端末1011、1012、……同士が図2に示す赤外通信部128を用いて部分ソフトウェアを交換することは、広告依頼者105が承諾するものであれば全く自由に認めてもよい。たとえば、ある無名な商品を有名にするために特定のゲームのソフトウェアを事実上無制限で配布する場合や、簡易版あるいは試用版のソフトウェアを普及させる目的で配布する場合がそれである。しかしながら、携帯無線端末1011、1012、……のユーザ同士が赤外通信部128等のように無線サービス通信事業者102を経由しない方法で必要な部分ソフトウェアを収集することは広告依頼者105の意向に沿わない結果となる場合がある。そこで、1つの実行可能なソフトウェアの完成に必要な複数の部分ソフトウェアが存在する場合、それらの特定のものについてはコンテンツプロバイダ104のコンテンツのアクセスでのみ取得可能なように取得経路に制限を設けることも有効である。

【0046】

以上説明したようにして図2に示したソフトウェア格納部125に一揃いの部分ソフトウェアが格納されたら、ユーザはこれらを連結して1つのソフトウェアを完成させ、以後はその実行可能なソフトウェアを必要に応じて起動して活用することができる。

【0047】

<発明の変形可能性>

【0048】

以上説明した実施例ではユーザの携帯無線端末1011、1012、……自体に

部分プログラムを格納していき、実行可能なソフトウェアとして連結可能になったものを連結させることでゲームや他のアプリケーションプログラムを実行できるようにした。ところが、ウェブ上にこのようなサービスを提供するコンテンツが増加すると、ユーザは多くのサイトでこのような部分ソフトウェアを集めていく結果として、特に小型の無線端末でメモリがこれらの部分ソフトウェアで占領されたりあるいはこれに近い事態が発生する恐れがある。このような事態を防止するためには、それぞれの部分プログラムに対応する識別情報のみを無線端末側が記憶し、実行可能なソフトウェアの完成が分かった時点でコンテンツプロバイダ 1 0 4 側からその実行可能なプログラムを直接ダウンロードするようにすればよい。

【 0 0 4 9 】

また、このように部分プログラムの識別情報のみを管理する場合には、広告等のコンテンツと部分プログラムの識別情報のみをコンテンツプロバイダ 1 0 4 が管理すればよく、完成したソフトウェア自体は他のサーバとしてのソフトウェア配布専用のサーバに役割を委譲させてもよい。この場合、ユーザは部分プログラムを収集した結果として特定の実行可能なソフトウェアをダウンロードするときにコンテンツプロバイダ 1 0 4 に連絡してコンテンツプロバイダ 1 0 4 からソフトウェア配布専用のサーバにダウンロードの依頼を行うようにしてもよいし、ソフトウェア配布専用のサーバが各ユーザの部分ソフトウェアに関する情報をコンテンツプロバイダ 1 0 4 から収集するようにしてもよい。

【 0 0 5 0 】

更に実施例では携帯無線端末について説明したが、たとえば家庭内で無線 LAN（ローカルエリアネットワーク）に接続された一般的な無線端末についても本発明を同様に適用することができる。

【 0 0 5 1 】

【発明の効果】

以上説明したように請求項 1 記載の発明によれば、ユーザが特定の広告情報にアクセスするたびにゲームや有用なアプリケーション等のソフトウェアの部分部分が入手されるので、ユーザを特定のサイトに幾度も通わせて実行可能な状態の

ソフトウェアを取得させることで広告による効果を高めることができる。

【 0 0 5 2 】

また、請求項 2 記載の発明によれば、ユーザが特定の広告情報にアクセスするたびにゲームや有用なアプリケーション等のソフトウェアを構成する部分ソフトウェアを特定する識別情報が入手されるので、ユーザを特定のサイトに幾度も通わせて最終的にソフトウェア配信サーバから実行可能な状態のソフトウェアを取得させることで広告による効果を高めることができる。しかも、無線端末側は識別情報のみを保管すればよいので、ソフトウェアを実行する前の段階でメモリに大きな負担をかけることがない。

【 0 0 5 3 】

更に請求項 3 記載の発明によれば、請求項 1 記載の無線端末広告システムで、無線端末はソフトウェア格納部に格納された特定の部分ソフトウェアを無線端末同士の通信によって授受できるので、同一の広告について情報を交換する過程で広告の宣伝効果を得ることができる。また、それぞれの無線端末は幾つかの部分ソフトウェアを特定の広告情報にアクセスすることで取得する必要がある、これにより単に広告による効果を保持するだけでなく、広告主の提供する商品等の最新の情報をユーザに知らせることができる。

【 0 0 5 4 】

また請求項 4 記載の発明によれば、請求項 2 記載の無線端末広告システムで、無線端末はソフトウェア識別情報格納部に格納された特定の部分ソフトウェアの識別情報を無線端末同士の通信によって授受できるので、同一の広告について情報を交換する過程で広告の宣伝効果を得ることができる。また、それぞれの無線端末は幾つかの識別情報を特定の広告情報にアクセスすることで取得する必要がある、これにより単に広告による効果を保持するだけでなく、広告主の提供する商品等の最新の情報をユーザに知らせることができる。

【 0 0 5 5 】

更に請求項 5 記載の発明によれば、無線端末のユーザが今までに取得した部分ソフトウェアあるいはこれに対応する識別情報と実行の目標とするソフトウェアとの関係を表示するようにして、ユーザに対して収集の意欲を湧かせ、広告情報

へのアクセスを積極的に行わせるようにしている。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の一実施例における無線端末広告システムの概要を表わしたシステム構成図である。

【図 2】

本実施例で使用される携帯無線端末の構成を表わしたブロック図である。

【図 3】

本実施例の無線端末広告システムの動作の概要を示した説明図である。

【図 4】

本実施例で、ユーザが最終的に実行するソフトウェアと無線サービス通信事業者がそのたびに配信する部分ソフトウェアとの関係を示した説明図である。

【図 5】

本実施例で、広告情報を視聴している状態での表示部の表示内容の一例を表わした平面図である。

【図 6】

本実施例で、取得したイメージ画像と最終的に実行可能なソフトウェアとの関係を示す表示画面の一例を示した平面図である。

【図 7】

部分ソフトウェアのイメージ画像の幾つかが組み合わされて、実行可能なソフトウェアが完成する例をイメージ画像として表わした説明図である。

【図 8】

実施例で特定の広告の配信のアクセスがあったときのコンテンツプロバイダ側の配信制御の概要を表わした流れ図である。

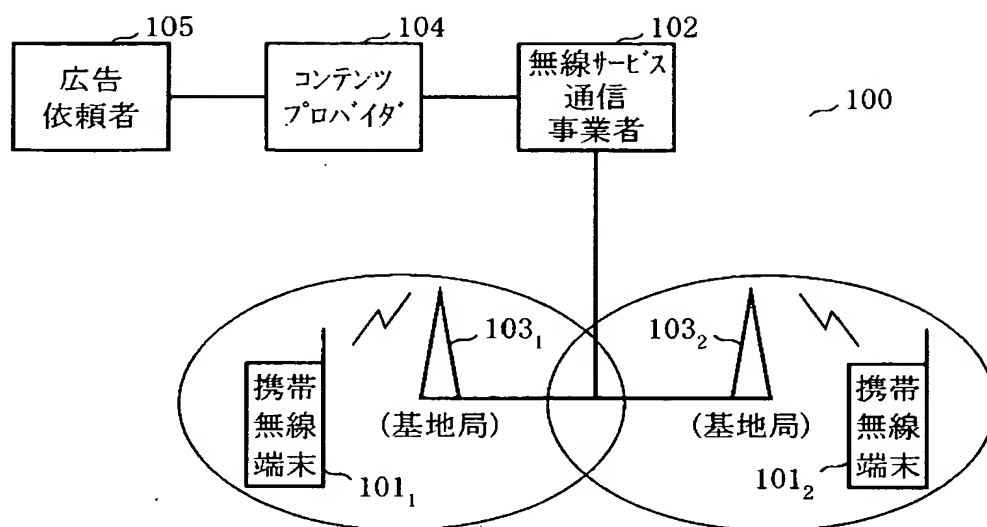
【符号の説明】

- 1 0 0 無線端末広告システム
- 1 0 1 携帯無線端末
- 1 0 2 無線サービス通信事業者
- 1 0 4 コンテンツプロバイダ

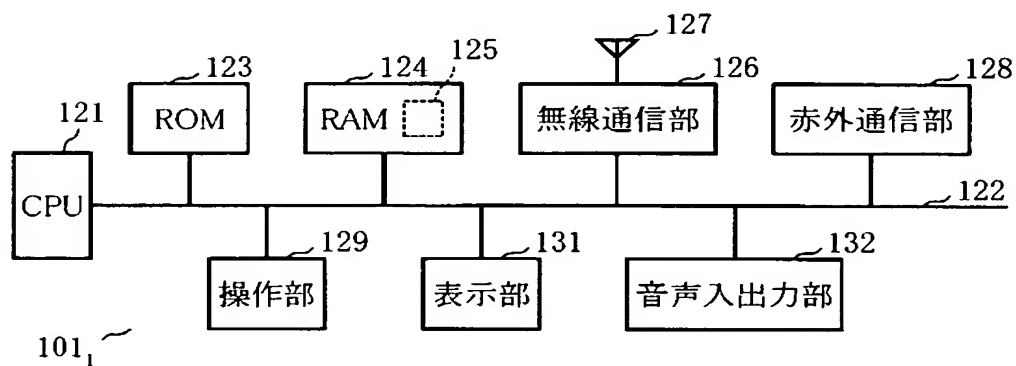
- 1 0 5 広告依頼者
- 1 2 1 C P U
- 1 2 3 R O M
- 1 2 5 ソフトウェア格納部
- 1 2 6 無線通信部
- 1 2 8 赤外通信部
- 1 3 1 表示部
- 1 4 1 ソフトウェア
- 1 4 2 部分ソフトウェア

【書類名】 図面

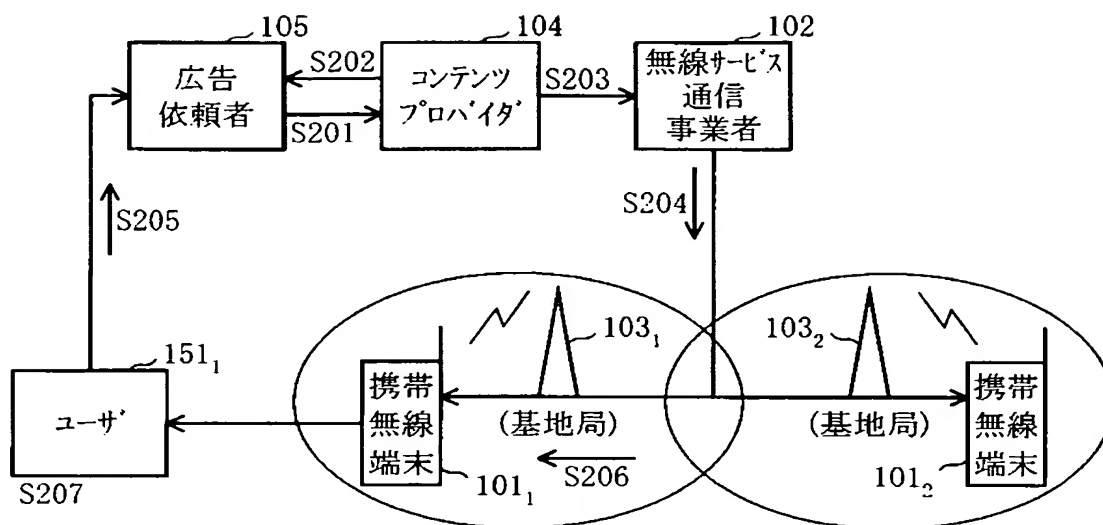
【図 1】



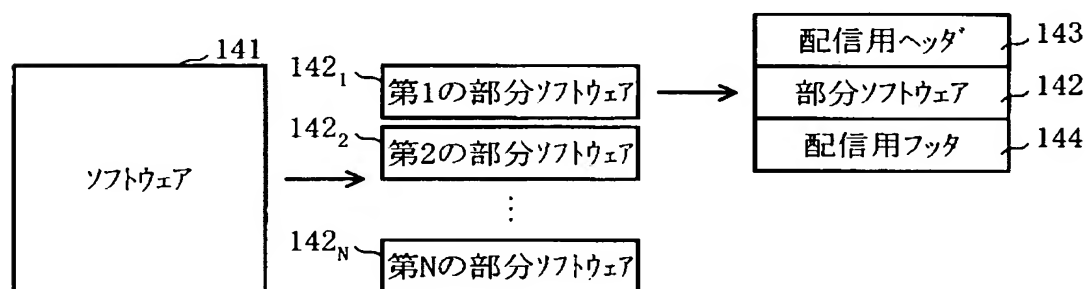
【図 2】



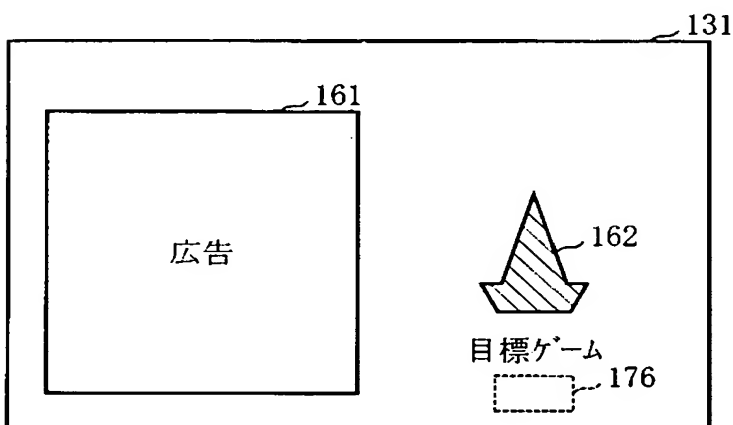
【図 3】



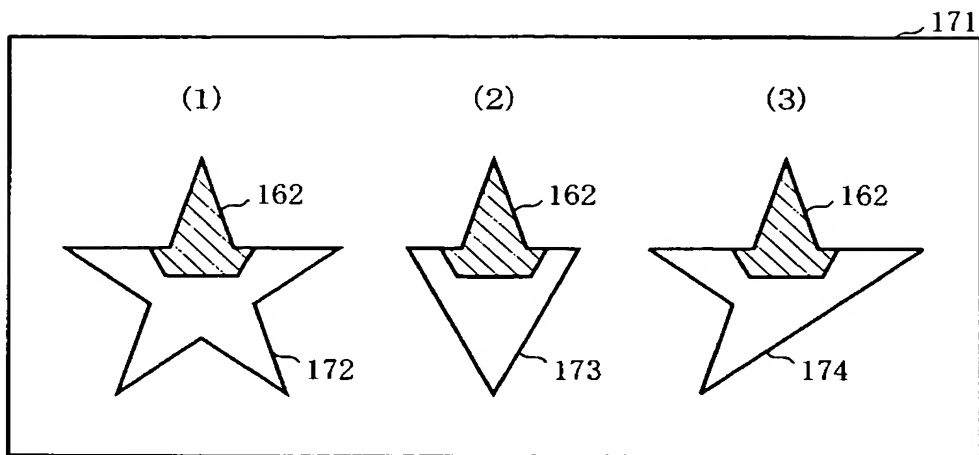
【図 4】



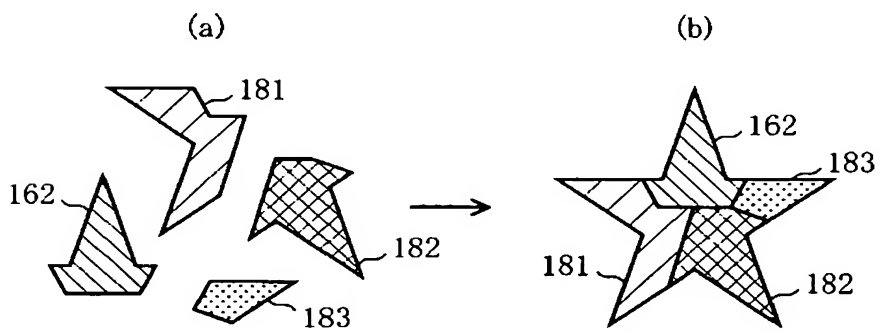
【図 5】



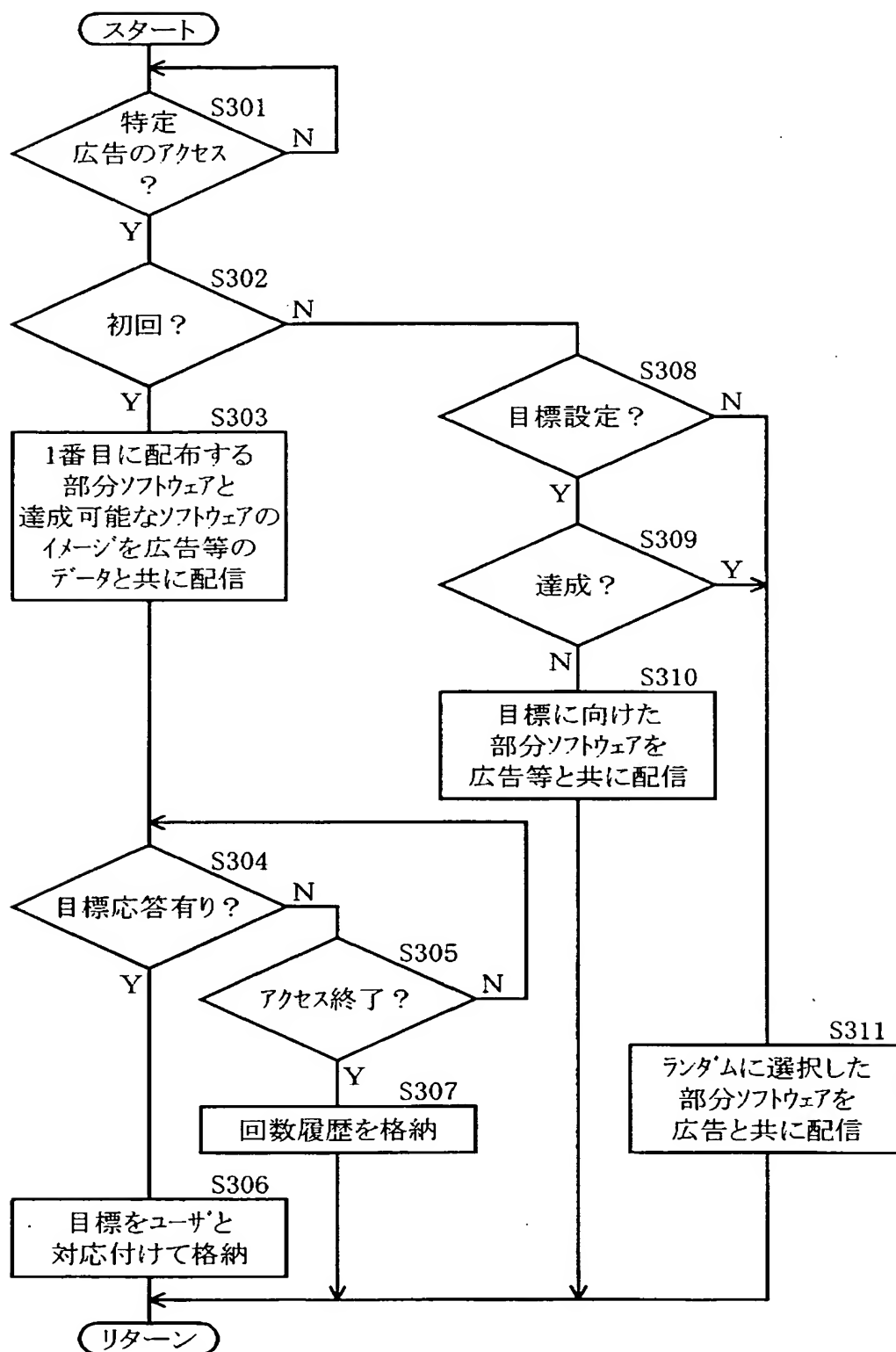
【図 6】



【図 7】



【図 8】





【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 報奨金を使用することなく、特定のサイトへの複数回のアクセスの可能性を高めて広告効果を高めることのできる無線端末広告システムを得ること。

【解決手段】 コンテンツプロバイダ104は広告依頼者105から依頼を受けた広告をユーザ151が携帯無線端末101でアクセスするたびにゲーム等のソフトウェアを構成する部分ソフトウェアを1つずつ無線サービス通信事業者102を介して配信させる。携帯無線端末101のユーザ151は、部分ソフトウェアを収集して1つのソフトウェアとして実行できるように広告に繰り返しアクセスするので、広告の効果を高めることができる。

【選択図】 図3



認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2 0 0 3 - 0 4 6 7 7 5
受付番号	5 0 3 0 0 2 9 7 2 9 1
書類名	特許願
担当官	第七担当上席 0 0 9 6
作成日	平成 1 5 年 2 月 2 6 日

< 認定情報・付加情報 >

【提出日】 平成15年 2月25日

次頁無

特願 2 0 0 3 - 0 4 6 7 7 5

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[0 0 0 0 0 4 2 3 7]

1. 変更年月日

1 9 9 0 年 8 月 2 9 日

[変更理由]

新規登録

住 所

東京都港区芝五丁目 7 番 1 号

氏 名

日本電気株式会社